

フェアトレード

学生時代から国際協力や国際援助に興味があった水野泰平氏は、新しいフェアトレードの見せ方を開拓し、提案することを目標として1999年にシサム工房を創業した。京都に本社を構え、京都・大阪・神戸・東京に九つの直営店を持つ。

雑貨、インテリア、アパレル、コーヒーなど豊富なジャンルのフェアトレード商品を扱っている。世界5カ国12の団体と提携し、オリジナル商品を開発。買物力の力で社会経済的に立場が弱い途上国に貢献することを提案し続けている。



▲シサム工房代表取締役の水野泰平氏

ギフトが世界中を
笑顔でつなげる

シサム工房

買い物の力で世の中を
良くする

フェアトレードはシサム工房の創業の志であり、事業の根幹にあるもの。それを広げることを一番のミッションとしている。シサム工房のスローガンは「what you buy is what you vote-お買い物とはどんな社会に一票を投じるかということ」。水野氏が創業時から考えてきたことだ。買い物を意識する人が増えれば世の中が良くなる」と信じている。

「現代社会のなかで暮らしている人は人は消費し、買い物をします。価格・デザイン・ニーズに合わせて自分が欲しいと思ったものを買うのが一般的だと思いますが、その時にどのような人々によって、どんな技法で作られたのか。どんなものでもそれを作っている人がいて、なにかしらの負荷を必ず地球に与えています。そこに想いを馳せる人が増えたら世の中は今より良くなると思っています」と語る。

時代が変わりフェアトレードが少しずつ知られてきていることを喜ぶ水野氏。その中でしっかりと自らの役割を果たしていきたいと意気込む。

ギフトとフェアトレード

「ギフトとフェアトレードはとても相性がいいと思います」と水野氏は語る。

ギフトは相手に喜んでもらうと同時に、自己表現や名刺的な意味もある。何を選ぶか、それを受け取った人がどう感じるか。シサム工房は店舗でもオンラインストアでも、ギフトを販売した際「Light smiles」というメッセージカードを必ず入れている。もらう人も作り手も、さらに言えば地球も一つのギフトによってたくさん笑顔で繋がるとというのがフェアトレ



▲木のカトラリー

ード商品……。その感覚を物と一緒に伝えることができればとの願いからカードを添え、商品の背景が記載されたタグを付けている。水野氏は「ギフトを贈る時こそ、せっかくだあればたくさんさんの笑顔に繋がる選択をしませんか」という提案をしやすいタイミングだと考えている。

シサム工房でギフトとして人気の商品はアパレル、コーヒー、チョコレート。その他木製のカトラリー、お皿、コーヒーメジャーなど豊富な商品の中から季節や贈る相手に合わせたギフトを選ぶことができる。



▲SISAM COFFEE